

小沢裁判 結局、誰も覚えていない裏ガネ1億円 2011/5/17付 日刊ゲンダイ

16日は、裏ガネの運び役と金庫番だった元役員2人が証言台に立った。尾納元専務(56)＝05年に退社＝は検察質問に04年10月に1回目の裏ガネを三重・桑名市の本社から東京支店に運び、金庫に入れたと証言。「尾納元専務は09年6月末から5、6回、検察に呼ばれ、東京支店の社用車の記録を提示されて日付を思い出したと証言。ところが、7月29日に初めて作成した調書には『現金は川村尚元社長に渡した』とあり、今回の『金庫に入れた』という証言と食い違うのです。当日の車の記録には、夜7時半に中国出張を終えた川村元社長を成田空港に迎えに行ったとの記載もある。それを見た上で『元社長に渡した』と供述したのに、なぜ『金庫に入れた』に変わったのか。不自然なのです(司法ジャーナリスト)

裏ガネを管理していたという中村重幸元常務(60)の証言もムチャクチャだ。裏ガネを渡したとされる05年8月期に水谷功元会長への架空の仮払い処理だけで計10回、3億1000万円の裏ガネを捻出した。しかし、小沢側への2度の裏ガネは「たまたま(裏ガネ用金庫に)あった手持ちの現金で支出した。新たに仮払いで作る必要はなかった」と説明。だから、会社の帳簿に出金を思わせる記述がないと言いたかったようだが、弁護側から仮払いによる裏ガネ一件一件の譲渡先を聞かれると、「裏ガネは帳簿もメモもないので、記憶していない」と連発した。それなのになぜ、小沢側の裏ガネだけ覚えていてのか――。元常務は「元社長に(胆沢ダム参入の)了解を得るため、小沢事務所を持っていく」と依頼された」と証言したが、記憶はそれだけだ。その川村元社長は先月27日の公判で「(裏ガネ提供の)記憶は封印していた。忘れていました」と証言。2度目の現場に「同席した」という下請け企業「日本発破技研」の山本潤社長も、法廷で「検事にヒントを与えられて記憶がよみがえった」と語った。

(郷原信郎氏 元検察官、弁護士) <http://www.twitlonger.com/show/btqm95>

陸山会事件(石川・池田・大久保関係)の検察論告を読んだ。まさに瓦礫のような論告、「読むに堪えなかった」というのが率直なところ。ほとんど、妄想・憶測を書きならべたような三流週刊誌レベルの「論告」を、東京地裁の刑事法廷で恥じらいもなく朗読できる神経が私には理解できないし、特捜検察が、そのような存在になってしまったことは情けない限りである。この事件の経過全体を見たとき、特捜検察の政治的画策は、小沢氏不起訴によって失敗に終わった。にもかかわらず、検審の起訴議決という、検察にとって屈辱以外の何物でもない手段にまで頼って、当初の目的にこだわり、その画策的手段として行った現職国会議員の石川氏の起訴を、その後の同氏の公判で、水谷建設からの5000万円の裏献金という凡そ同氏の起訴事実とは関連性のない事実の公判立証で、まともな事件に偽装しようとするという、刑事手続の常識を逸脱したやり方を押し通してきた。それらの画策が最終的に破綻したのが、先般の、東京地裁による証拠却下決定であった。

(江川紹子氏 ジャーナリスト) <http://www.twitlonger.com/show/breffn>

「陸山会&西松事件での検察側の論告は、やはりパツとしなかった。特に陸山会事件での大久保元秘書の関与については、「...と考えられる」「...とは到底考えられない」「...はずがない」「...としか考えられない」「...と推測される」と推測に次ぐ推測。石川議員との「共謀」すらそうなのに、池田元秘書とは石川議員を介した「共謀」で、説得力はますます希薄。違法な献金を隠すために嘘の記載をしたとの「動機」についても、a)石川氏に5000万円を渡したとする水谷前社長の証言の裏付けがない、b)小沢氏が土地購入代金として提供した4億円が不正な金であるという証明がない、それどころか、石川氏が水谷建設から金を受け取ったとされているのは平成16年10月15日で、小沢氏からの4億円を複数の銀行口座に分散して入金し始めたのは10月13日。小沢4億円の中に水谷からの5000万円が入りようがなく、まして大久保氏が水谷から金を受けとったとされるのは翌年の平成17年4月。土地購入の原資になりようがない。検察の主張は自家撞着に陥ったままだ。これで「小沢氏から借りた4億円は、その由来を公にできないものであった」と言われても、裁判所も困るだろう。いったい何のために、何期日も使って水谷関係の証人を調べたのだろうか...また、4億円の分散入金は小沢氏からの借入れを隠蔽するためというが、銀行に預金すれば記録が残る、「隠蔽」にならない。「隠蔽」したければ事務所の金庫に隠しておくだろう。このように、検察のストーリーは無理や矛盾を重ねていて、取り繕いようがない、と言わざるを得ない。

小沢一郎氏の名誉回復と復権を求める街頭行動 連続実施しています。

震災後の日本の政治混迷を克服し、今こそ本当の「国民が主権者」の社会をもたらすため、また検察による冤罪捜査・公人抹殺を二度と繰り返させないために、【国民の生活が第一。】の提唱者である小沢一郎議員への、国民からの支持と応援を、街頭行進にて表明しています。有志の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

《プラカード・幟のご持参歓迎》

- ・小沢一郎議員応援
- ・石川知裕議員、大久保隆規氏、池田光智氏ら
元秘書の方々への応援
- ・検察・検察審査会による冤罪糾弾
- ・マスコミの偏向報道への抗議糾弾
- ・小沢一郎氏の民主党党員資格の回復要求 etc.



◎次回 9月4日(日)【新宿】

小滝橋通り～甲州街道～靖国通りをデモ行進します。

東京都新宿区西新宿7-14 (JR新宿駅西口・東口より徒歩5～8分、西武新宿駅より徒歩5分)の

柏木公園に 15:30～集合

16:00時出発



【集合地 柏木公園への行きかた】

・新宿駅東口または西武新宿駅から) 靖国通り～大ガード下を通過し小滝橋通りへ入る

・新宿駅西口から) 駅を出て右へ、直進し小滝橋通りへ入る

上のいずれでも、小滝橋通りに入って最初の信号を左折2分

※残暑の折柄、体調には充分ご注意ください

東北復興・日本再生を、剛腕 小沢一郎に託そう!

お問い合わせ Mail: ozawa_risen@excite.co.jp TEL: 070-5552-8284 (小吹)

小沢一郎支援デモ実行委員会のブログ: <http://ozawa-risen.cocolog-nifty.com/blog/>

中止・延期・時刻変更が発生する場合があります。開催直前に、上記HPご確認ください。